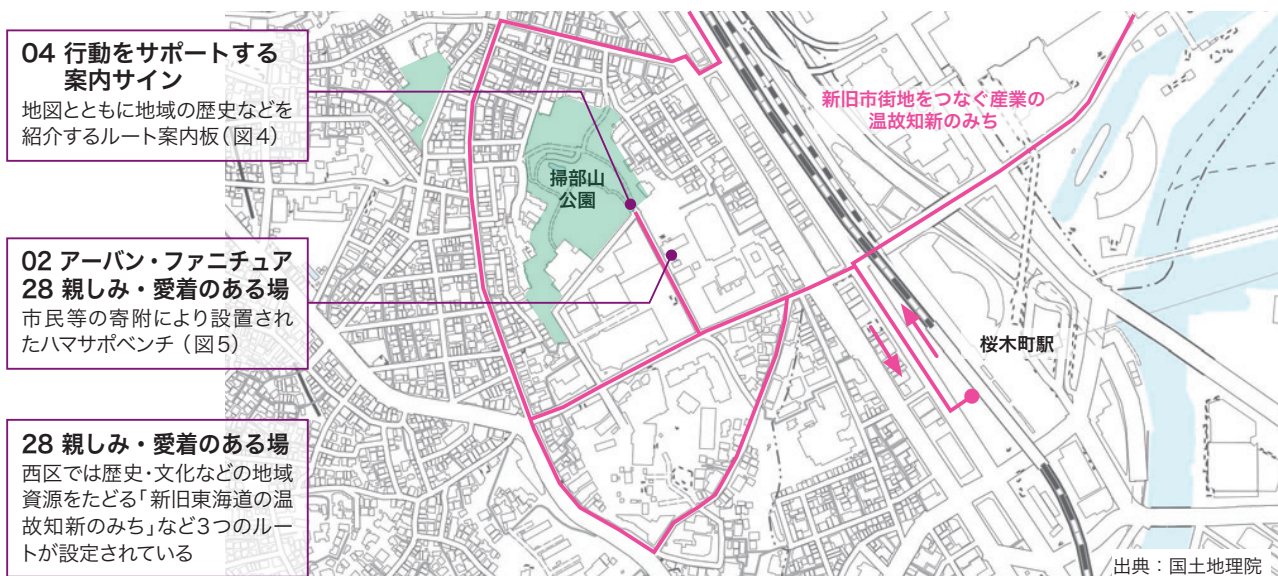
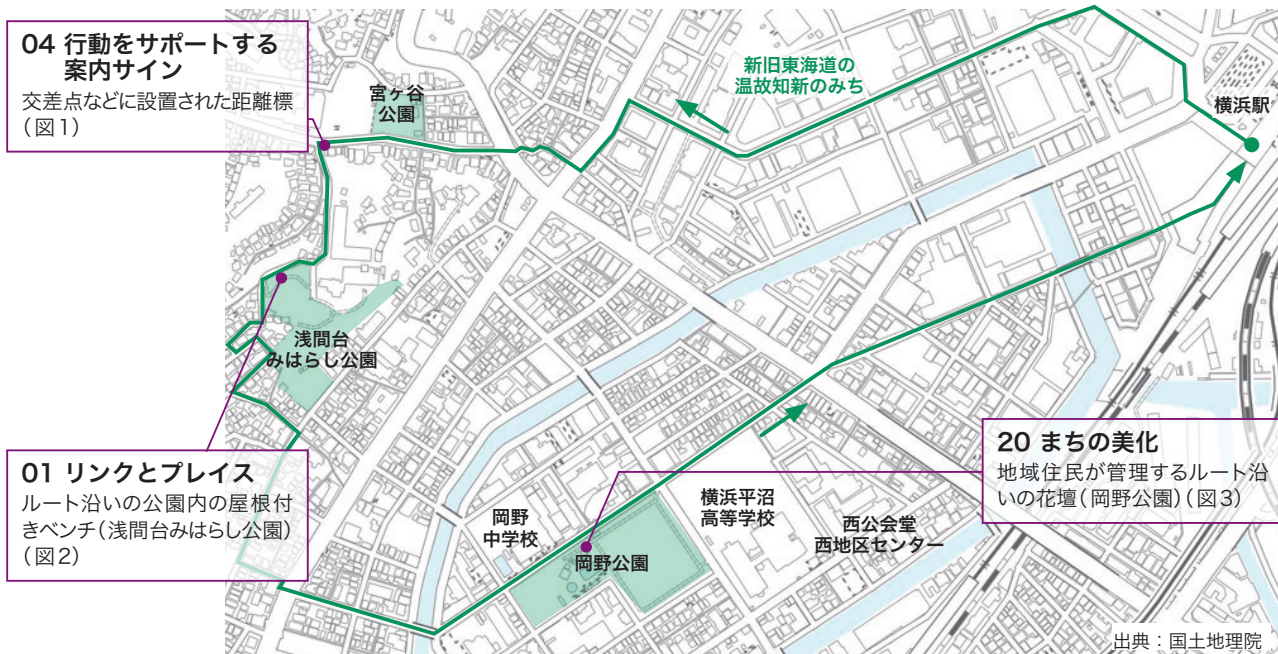


# 健康みちづくり推進事業

神奈川県横浜市



「健康みちづくり推進事業」は、市民の健康増進や外出意欲の向上に資する歩行空間を整備することにより、楽しみながら健康づくりに取り組める場を創出するとともに、一人ひとりの健康寿命を延ばし、いきいきと楽しく暮らせる活力ある横浜を創ることを目的とした事業である。2018年に策定された「横浜市中期4か年計画 2018～2021」では、主な施策のひとつに「継続的に取り組める健康づくりの推進」が掲げられ、健康づくり公園(健康器具やその使い方を示す看板等を設置)とあわせて、健康み

ちづくり(歩行空間等の整備)による健康づくりの場の創出に取り組むこととされている。

本事業で整備される「健康みちづくりルート」は、「各区版」の18ルートと、「広域版」の5ルートである。具体的には、案内サイン(距離標やルート案内板)、ベンチ等の休憩施設、歩道の舗装、街路樹、植栽等を標準として整備が進められた。ここで紹介しているのは、「各区版」のひとつ、西区の「地域資源をたどる、3つの温故知新ルート」である。



図1 交差点などに設置された距離標



図2 ルート沿いの公園内の屋根付きベンチ(浅間台みはらし公園)



図3 地域住民が管理するルート沿いの花壇(岡野公園)



図4 地図とともに地域の歴史などを紹介するルート案内板



図5 市民等の寄附により設置されたハマサポベンチ



図6 暮らしの温故知新のみち(出典:横浜市HP)



図7 迷いやすい場所の路面に埋め込まれた飛び石サイン

各ルートの設定にあたっては、(1) 自然環境や歴史・文化など既存の地域資源の有効活用、(2) 付近の公園や駅などの接続によるルートのネットワーク化、(3) 健康づくりに係るソフト施策など他の健康づくり施策との連携、の3点に留意された。最後の点に関しては、無料で配布される歩数計やアプリで参加する「よこはまウォーキングポイント事業」をはじめ、各区で行われる様々なウォーキングイベントや健康づくり施策などが挙げられる。上述した中期計画への位置づけにより、部局の枠を越えた

ソフト・ハード両面にわたる健康づくり施策が実現している。

地域との連携・協働も本事業の特徴である。地域の実情やニーズに合った整備や取組を推進するため、地域関係者の意見も取り入れながら歩行空間や施設の整備が進められた。整備後はその機能を適正に保つため、ハマロード・サポーター(身近な道路の清掃や美化活動等を行うボランティア団体)、水辺愛護会、公園愛護会などの団体との連携・協働により日常的な清掃や美化活動等を実施している。

#### 参考文献

・横浜市道路局、「健康みちづくり推進事業実施計画」, [https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/jigyo\\_kikaku/kenmichi/kenmichi.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/jigyo_kikaku/kenmichi/kenmichi.html), (参照2021-10-20)